

### 【巡回指導〈3〉】伊達市立 桃陵中学校・会津若松市立 第三中学校 合同巡回指導

日 程 : 2018年5月19日(土)

参加者 : 桃陵中学校(女子13名)/田中先生、関川先生 若松第三中学校(10名)/善澄先生

指導者 : 小野章三(元堺ブレイザーズ) 内藤香菜子(元NECレッドロケッツ)

同行者 : 事務局/松尾英紀、小色尚子 会員:三菱商事(株)東北支社 1名



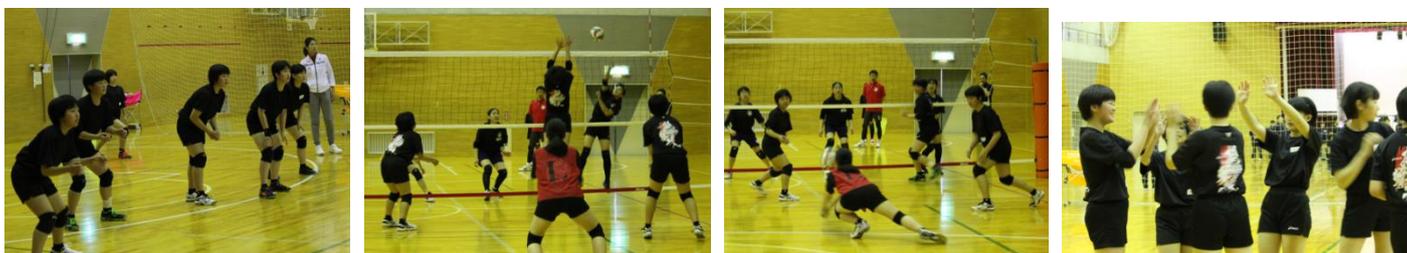
巡回指導3回目は桃陵中と若松3中の合同指導に小野コーチと内藤コーチが指導しました。小野コーチより大会前ということもあり、プレーに対しての振り返り、目標、心構えについてミニ講座が開かれました。その後、みんなで今日の目標を話し合いました。桃陵中は「大きな声を出す。サーブを狙って打つ」、若松三中は「切り替えを早くする。集中力を最後まで」など、それぞれに掲げました。



小野コーチはレシーブを、内藤コーチはブロックの指導をしました。小野コーチから「優しいボールだからと簡単と思わないこと！ただ返すのではなく、返したいところに綺麗に返すことを意識して丁寧に！」と指導がありました。内藤コーチからはブロックの姿勢とステップについて指導がありました。「もっと早くステップを踏むこと！もう一つ先に手を出して！」の声に、どんどん良くなっていきました。両校の課題でもあるサーブレシーブに対して、小野コーチ、内藤コーチの二人がボール出しをして練習もしました。



いよいよ、練習試合に挑みます。フォーメーションの位置の確認、ボールの動きに対して予測して動くステップの仕方、サーブの狙い方など、丁寧に指導しました。コーチの言葉を真剣に聞く姿が印象的でした。心を一つにして、今日の目標に向かって試合開始です。





お互いのプレーを尊重し、真剣勝負です。ナイスプレー！！たくさんの笑顔とハイタッチが見られました。ドンマイ！！ミスをしたもお互いに励まし合い、フォローし合って前を向き、ボールを追う姿が眩しかったです。



試合後は、小野コーチが試合中にサーブをあそこに打て！と、狙う位置を指定したのは気分で指示したのではなく意味があり、その意味を理解してプレーしていたか、声は出ていたけど足がボールに対して動けていなかった、逆にボールに対しての動きは良かったけど、チーム内の声が出ていなかった、これまで頑張ってきたことをチームとしてプレーで体現するように心を一つにして欲しいなど、振り返りの指導がありました。会員の橋本さんからからは「失敗したり、迷ったりすることはとても大切なことで、その経験が自分の歩みとなり、勇気となって自分を支えてくれます。失敗を恐れずに毎日を頑張ってください」とエールが送られました。この日、若松3中は小野コーチが書いてくれた言葉を背中にプリントしたTシャツを着て参加してくれ、小野コーチも大感激でした。最後は小野コーチ、内藤コーチを囲んで2校一緒にバボちゃんポーズで記念撮影です。今回は、2人のコーチから指導してもらった有意義な時間だったと思います。それぞれの目標に向かって頑張れ、桃陵中！若松3中！心から応援しています！